

令和6年12月3日
庁議資料

狛江市地域ポイント導入企画書（案）

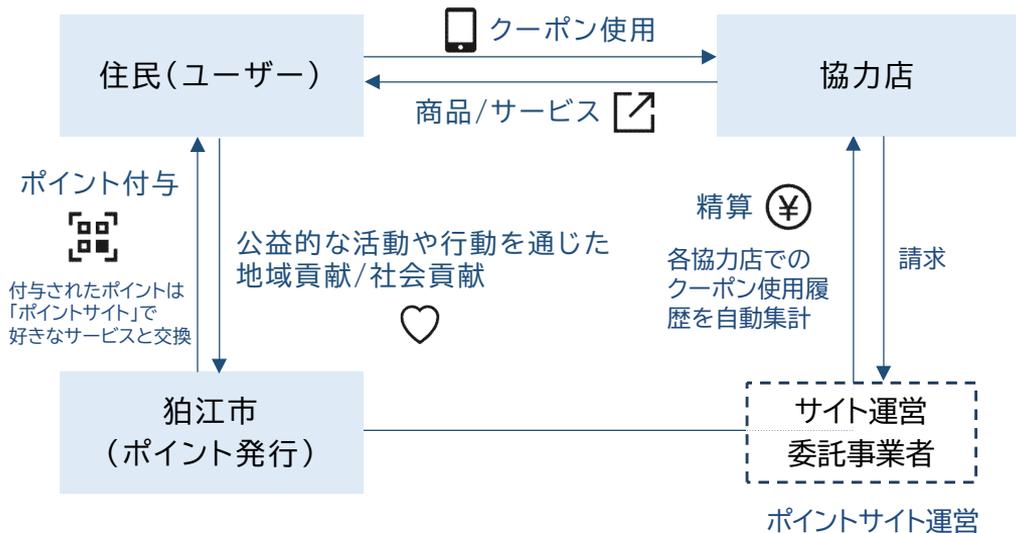
2024.11.26
狛江市 地域DX推進委員会

名称/コンセプト/機能

名称	狛江市地域ポイント（通称:こまポ）
コンセプト	『市民一人ひとりの思いが繋がる、“狛江スタイル”の共助型コミュニティ実現のツール』 都市化が進み、地域の共助力が弱まりつつあるなかで、市民一人ひとりの地域や社会を思う行動が可視化され、地域内を循環する「地域ポイント」を導入する。地域ボランティア、健康、商業振興、環境保護など様々な分野でのポイントの活用を通じて、デジタルを身近なものとし、市民一人ひとりが助け合い、支えあう幸せを感じる“狛江スタイル”の共助型コミュニティの実現に寄与する。
提供価値	市民 地域貢献/社会貢献の“見える化”によるWell-beingの向上 協力店 事業参加を通じた店舗のPR、地域の顧客の獲得、協力店としての参加が容易 地域 市民による地域活動への参加・地域貢献/社会貢献を通じた地域の魅力向上、 行政 インセンティブ提供を通じた政策効果の向上、デジタル活用による業務効率化・コスト削減
主な機能	ユーザ向け ポイント獲得/利用、ポイントサイトによるサービス提供、サービス情報、お知らせ、履歴管理、個人ID管理 管理者向け ポイントサイト管理機能、ポイント管理機能、QRコード発行機能 ※管理者向け機能でポイントの使用について管理ができるため協力店の作業は発生しない

ポイント流通/画面イメージ

■ポイント流通



■画面イメージ

トップ画面 (Top Screen)



ポイント取得 (Point Acquisition)

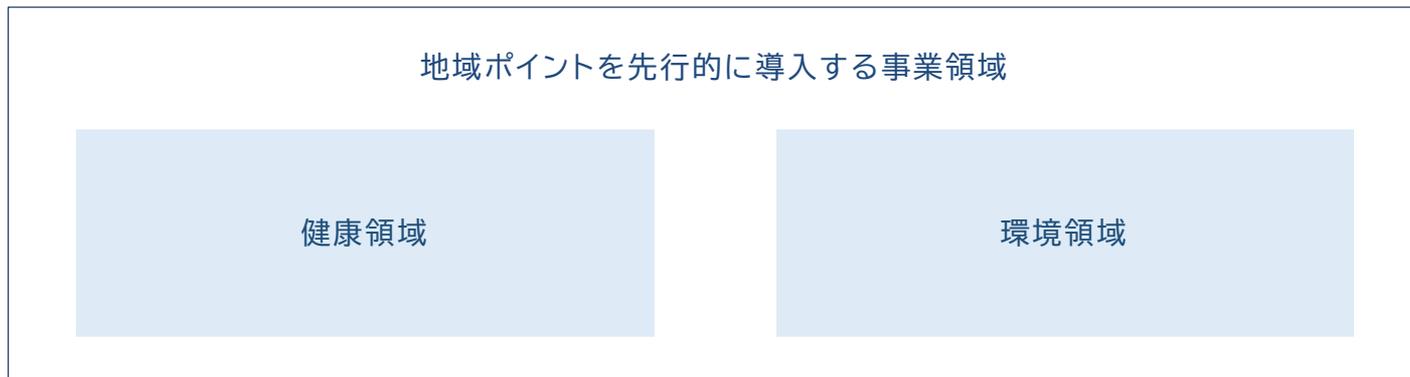


ポイント利用 (Point Usage)



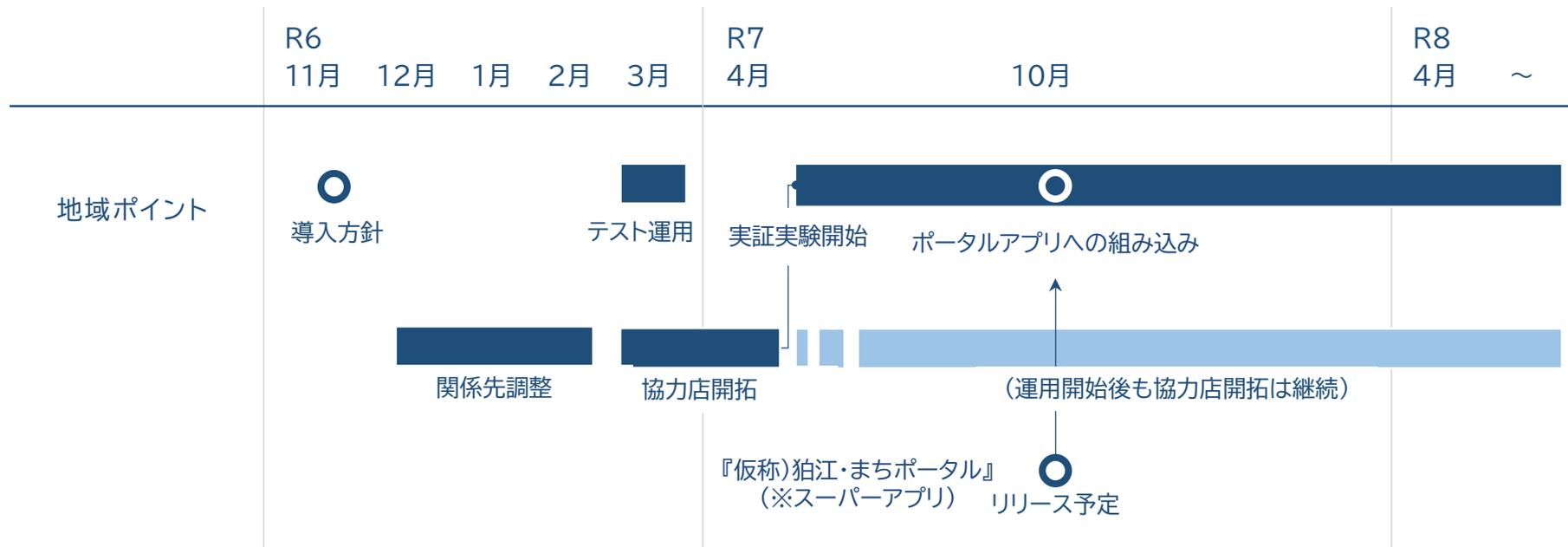
地域ポイントを先行的に導入する領域(案)

- まずは、令和7年度に実証事業として、「地域ポイント」を先行して付与する事業領域として、「健康領域」と「環境領域」に取組んでいく。
- 「健康領域」では、稼働中のポイント事業について、切り替え可能な事業分野を「地域ポイント」に切り替えていく。
- また、「環境領域」については、2050年度までのカーボンニュートラル実現・ゼロカーボンシティ推進の視点とともに、他の領域と比較してターゲット層が広く、市民一人ひとりの活動・行動変容が地域へ広がり、ひいては社会を支える活動に資するものとして選定する。
- 実証の結果を基に、今後はデジタルを活用したポイント事業の実施について、この取組に集約していく。
- 上記2点を含め、地域ポイントを付与する事業は、令和7年度以降予算編成で整理・調整する。
- 今後、地域ポイント事業の拡充にあたっては、単純にポイントを配布するだけにならない様、政策的判断に加え、地域ポイントのコンセプトや提供価値に基づいて、事業へ新たな付加価値を持たせることに留意する。



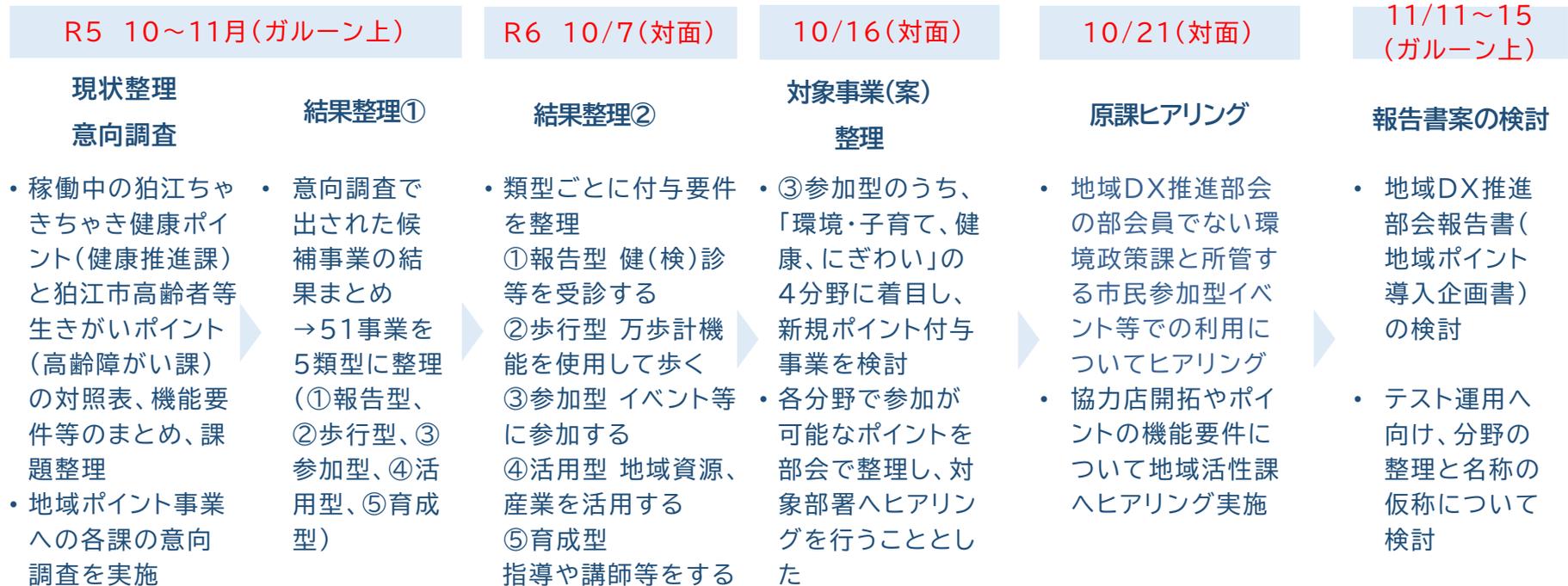
スケジュール

- 令和6年度末に地域ポイントシステムのクローズ環境でのテスト運用を実施し、令和7年度早々の本運用に繋げる。
- 協力店開拓は令和7年度の本運用開始に向けて、テスト運用時から並行して実施する。
- 地域ポイントシステムは令和7年10月にリリース予定の『仮称)狛江・まちポータル』にミニアプリとして組み込む予定。



APPENDIX

■ 地域社会DX推進部会の経過



地域ポイントのネーミング案

- 地域ポイントのコンセプトと提供価値をネーミング要素に盛り込む。
- 地域ポイントが対象としている市民の全世代に浸透しやすいように、一息で言い切れる短いフレーズ

こまポ	こまえのまちを循環するポイント
こまコイン	こまえのまちを循環するコインのイメージを表現
こまえん	地域や社会に良い影響を与える個人の行動が、こまえのまちを循環しながら繋がりに、市民の社会的に良い行動が輪(円)になっていく様子表現
つなポ (こまえ つながるポイント)	地域や社会に良い影響を与える個人の行動が、「ポイント」として地域で繋がっていく様子表現
めぐポ (こまえ めぐるポイント)	地域や社会に良い影響を与える個人の行動が、「ポイント」として地域内を巡っていく循環していく様子表現